

# 日本鳥学会 2018年度大会 プログラム

The Ornithological Society of Japan Annual Meeting 2018



会期：2018年9月14日(金)～9月17日(月)

会場：新潟大学五十嵐キャンパス

朱鷺メッセ(公開シンポジウム)

# 目次

|                                                                                                                |     |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----|
| 大会案内.....                                                                                                      | 1   |
| 概要／日程／会場案内／受付／クローク／総会／口頭発表／ポスター発表／日本鳥学会ポスター賞／自由集会／委員会／懇親会／高校生ポスター発表／会場での撮影・録音／無線 LAN／展示販売／昼食／休憩室／託児室／会場内の禁煙／ゴミ |     |
| 大会プログラム.....                                                                                                   | 11  |
| 公開シンポジウム／黒田賞受賞講演／口頭発表／ポスター発表／高校生ポスター発表／自由集会／展示販売                                                               |     |
| 公開シンポジウム要旨.....                                                                                                | 31  |
| 2018 年度日本鳥学会黒田賞受賞者プロフィール・受賞講演要旨.....                                                                           | 37  |
| 口頭発表要旨.....                                                                                                    | 41  |
| ポスター発表要旨.....                                                                                                  | 69  |
| 高校生ポスター発表要旨.....                                                                                               | 131 |
| 自由集会主旨.....                                                                                                    | 139 |
| 参加者名簿(早期申込・高校生(小中学生)および引率者).....                                                                               | 157 |
| 広告.....                                                                                                        | 169 |

表紙・扉絵： なかす

# 大会案内

## 《概 要》

主催：日本鳥学会

会期：2018 年 9 月 14 日（金）～17 日（月・祝）

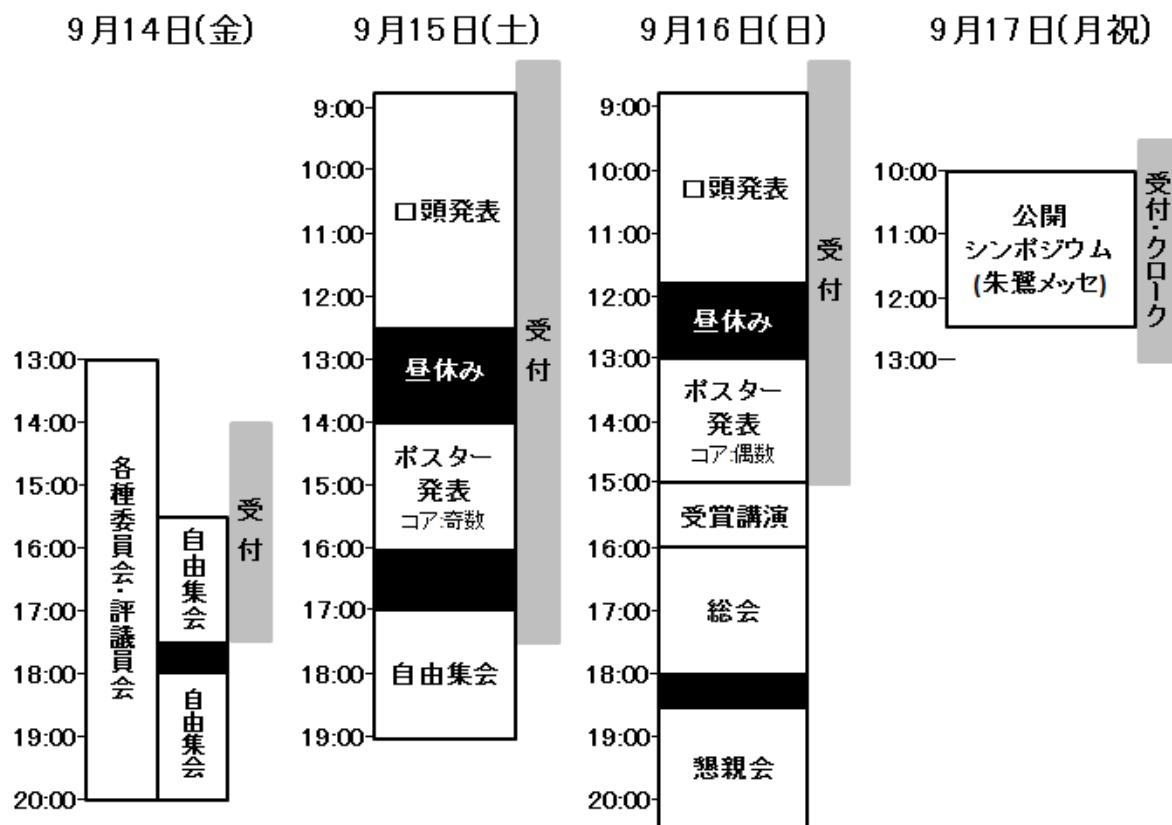
会場：新潟大学 五十嵐キャンパス

（9 月 14～16 日，各種発表・総会など，新潟市西区五十嵐 2 の町 8050）

朱鷺メッセ 新潟コンベンションセンター

（9 月 17 日，公開シンポジウム，新潟市中央区万代島 6 番 1 号）

## 《日 程》

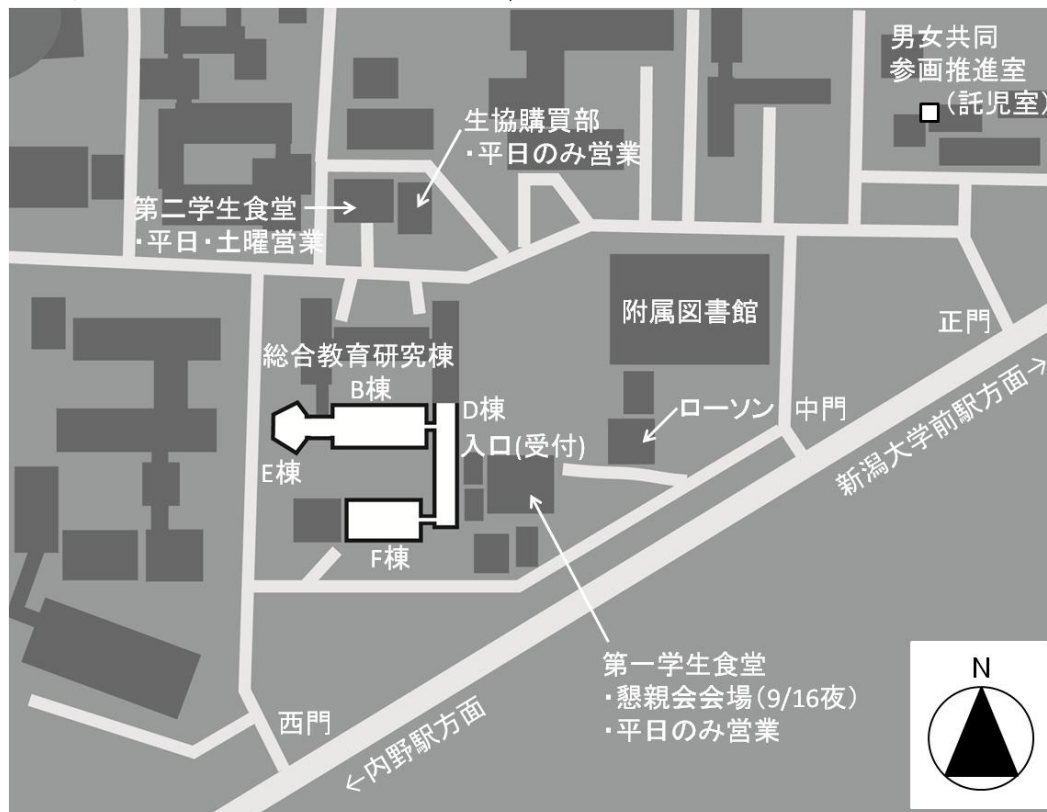


- ・口頭発表は 9 月 15(土), 16(日)とも **8:45 にスタート**します。ご注意ください。
- ・ポスターの掲示可能期間は 9 月 14 日(金)14:00～16 日(日)16:00 です(夜間は施錠します)。
- ・ポスター発表のコアタイムは，奇数番号ポスターが 15 日(土)14:00～16:00
- ・                   〃                   偶数番号ポスターが 16 日(日)13:00～15:00

## 《会場案内》

### (1)新潟大学五十嵐キャンパス 会場(総合教育研究棟)付近地図:

メイン会場は、総合教育研究棟(B~F棟)。受付は、D棟入口(9月14(金)~16日(日))。

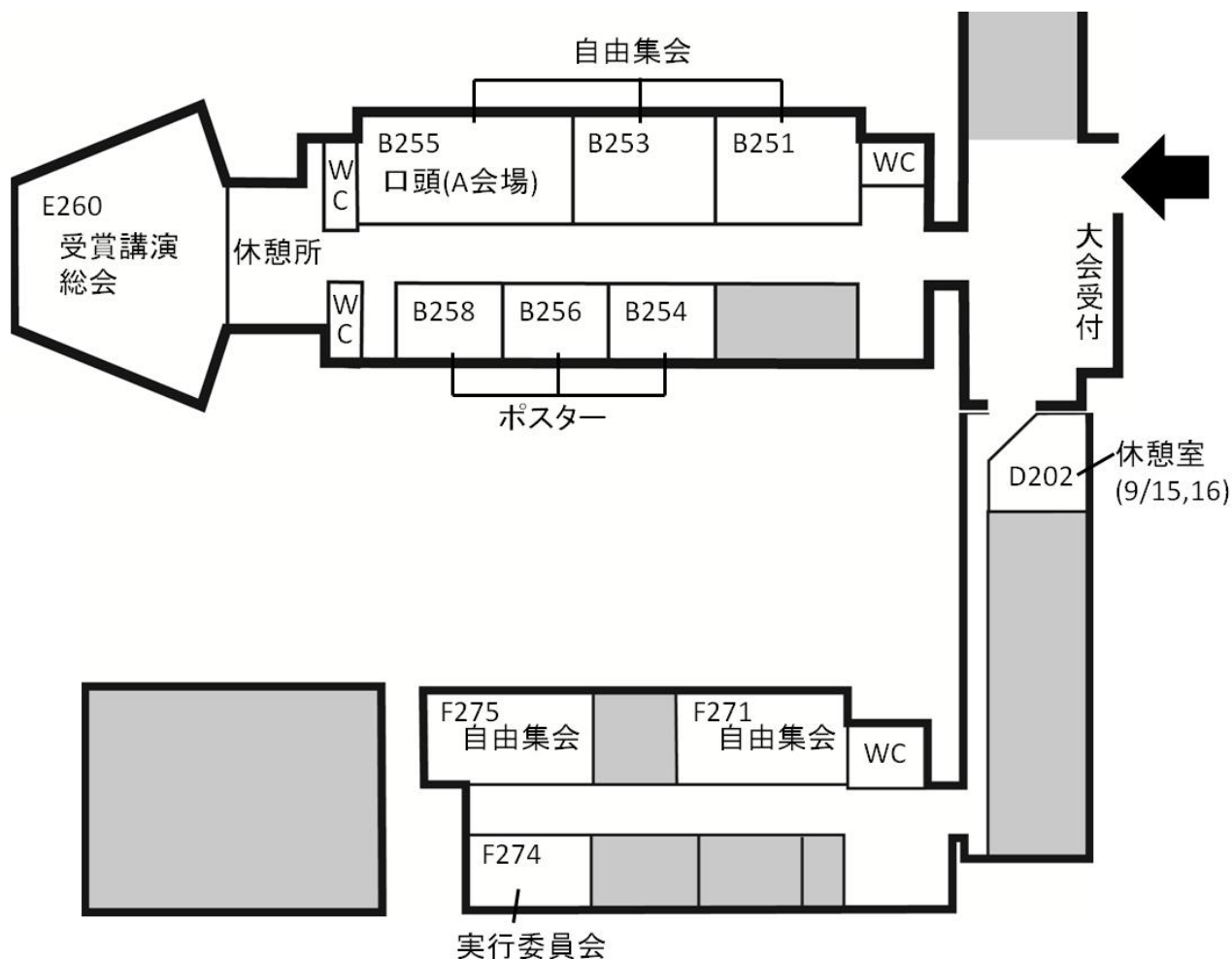


- ・生協購買部・第一学生食堂は15日(土)~16日(日)は休みです。第二学生食堂は15日(土)も営業しています。学内のローソンは大会期間中営業しています。キャンパス周辺には、たくさんの飲食店があります。新潟大学前駅から会場までの経路上にもコンビニが2軒あります。
- ・主要な発表会場・休憩室等の教室は、以下の通りです。

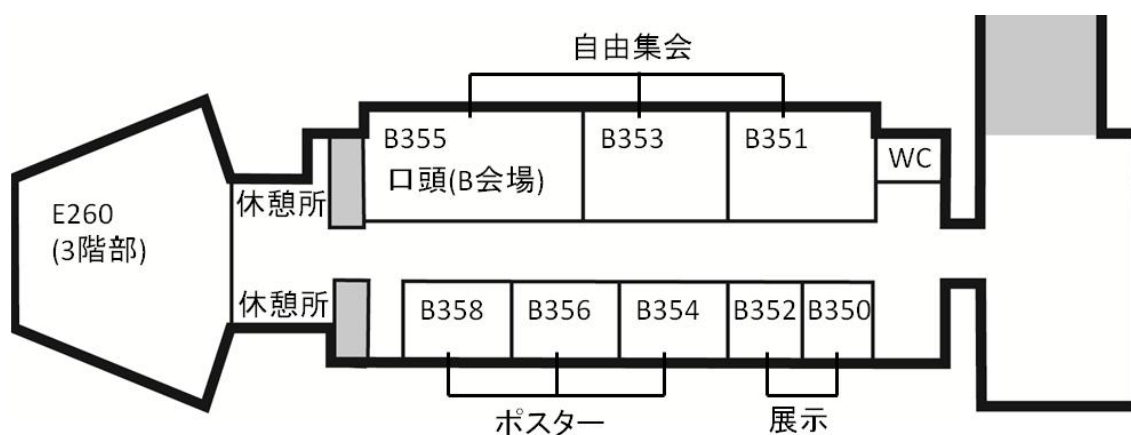
| 内 容     | 会場教室番号等                                        | 棟名等                                             |
|---------|------------------------------------------------|-------------------------------------------------|
| 受付      | D棟玄関ホール                                        | D棟                                              |
| 口頭発表    | B255, B355                                     | B棟                                              |
| ポスター発表  | B254, B256, B258, B354, B356, B358             | B棟                                              |
| 自由集会    | B251, B253, B255, B351, B353, B355, F271, F275 | B棟, F棟                                          |
| 展示      | B350, B352                                     | B棟                                              |
| 総会・受賞講演 | E260(大講義室ホール)                                  | E棟                                              |
| 懇親会     | 第一学生食堂(生協食堂)                                   | D棟すぐ東側                                          |
| 休憩室     | D202(9月15~16日のみ)。<br>E棟ホール入口付近も利用可。            | D棟, E棟                                          |
| 託児室     | 男女共同参画推進室プレールーム                                | 正門近く大学本部裏の建物1階。託児室内は、カーテンで仕切ることができ、授乳室としても利用可能。 |
| 大会実行委員会 | F274                                           | F棟                                              |

(2)新潟大学五十嵐キャンパス各棟・各階の会場配置図：

- ・総合教育研究棟 B・D・E・F 棟 2 階 (斜面立地のため A 棟が基準となります。直接、2階に入れます)



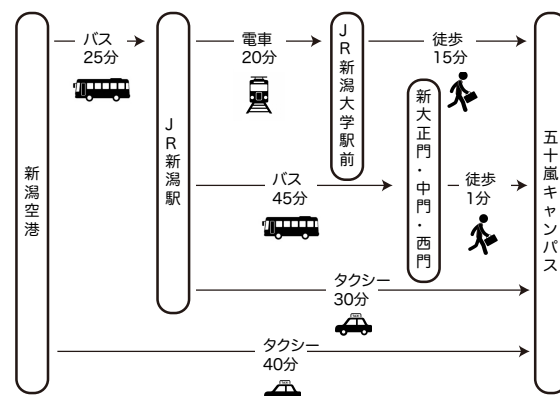
- ・総合教育研究棟 B・D・E 棟 3 階 (斜面立地のため、実際には3階は2階に相当します)



### (3)大会会場へのアクセス:

- JRの場合は越後線を利用し、新潟駅から新潟大学前駅まで約20分(240円)、新潟大学前駅から会場まで徒歩15分です。

- 新潟交通バスの場合は西小針線(W2系統の新大西門行または内野営業所行)を利用し、新潟駅前万代口(および古町)から新大正門(西門)まで約45分(470円)です。大学最寄りのバス停は新大正門・新大中門・新大西門の3つがあります。会場には新大西門が最も近いですが、他のバス停でもそれほど離れていません。なお、JR越後線新潟大学前駅最寄りのバス停である新大入り口～新大正門(西門)間は100円でバスが乗車できます。JR越後線→バスの乗り換えがお得です。



- JR、バスでは、Suicaおよび「Suica」と相互利用している交通系ICカードを使用できます。
- タクシーを利用する場合は、JR内野駅で下車ください。新潟大学前駅にはタクシー乗り場はありません。
- 原則として、自家用車での来場は、ご遠慮ください。正門と中門の間にコインパーキングがあります。
- 各交通機関の時刻表は下記をご確認ください:

※ JR 新潟駅: [www.jreast-timetable.jp/timetable/list1137.html](http://www.jreast-timetable.jp/timetable/list1137.html)

※ 新潟交通バス: [www.niigata-kotsu.co.jp/noriai/noribaannai.shtml](http://www.niigata-kotsu.co.jp/noriai/noribaannai.shtml)

- 新潟空港からは、新潟駅行リムジンバスを利用してください(路線バスもあります)。

※ 新潟空港～新潟駅間のバス: <https://www.niigata-airport.gr.jp/access/bus.php>

- 新潟大学から新潟駅・古町方面への終電・最終バスは、下記です(2018年8月1日現在)

| JR 越後線 新潟駅方面ゆき(下り) |              |       |       |       |
|--------------------|--------------|-------|-------|-------|
| 内野駅発               | 9月14日(金)     | 22:41 | 22:52 | 23:11 |
| 〃                  | 9月15~16日(土日) | 22:41 | 22:52 | 23:11 |
| 新潟大学前駅発            | 9月14日(金)     | 22:45 | 22:55 | 23:15 |
| 〃                  | 9月15~16日(土日) | 22:45 | 22:55 | 23:15 |

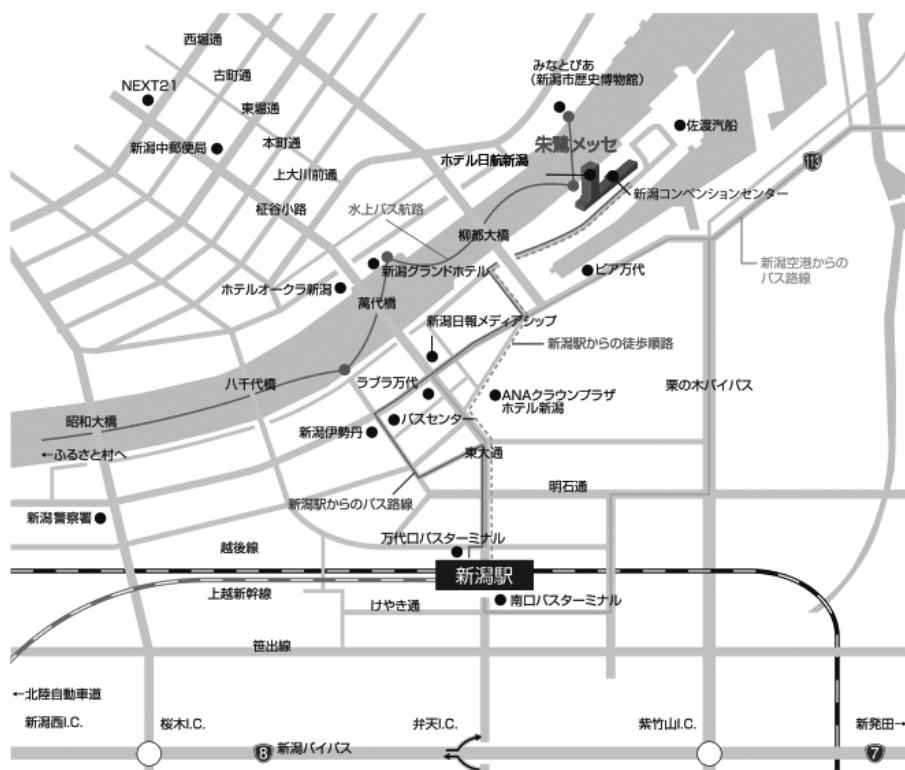
| 新潟交通バス 新潟駅方面ゆき |              |       |       |       |
|----------------|--------------|-------|-------|-------|
| 新大西門発          | 9月14日(金)     | 22:24 | 22:36 | 23:15 |
| 〃              | 9月15~16日(土日) | 21:43 | 22:13 | 22:43 |

※時刻表は、最新のもので再確認頂きますよう、お願いいたします。

- 新潟大学五十嵐キャンパスの北側には、大学の森(海岸防風林)があり、その先は日本海です。探鳥にはあまり適さない季節ですが、空き時間に散策するのもいいかもしれません。渡り鳥に出会えるかもしれません。

#### (4)朱鷺メッセ 新潟コンベンションセンター～新潟駅周辺地図：

公開シンポジウムの会場は、朱鷺メッセの国際会議室(マリンホール)です(9月17日(月祝))。



#### 会場へのアクセス

- ・路線バス：新潟駅前（万代口）から佐渡汽船方面行き乗車で約 15 分（「朱鷺メッセ」にて降車）。
- ・徒歩：新潟駅前（万代口）から約 20 分。万代橋から信濃川やすらぎ堤に沿って歩くコースがおすすめです。新潟市内で一番高い万代島ビル（日航ホテル・万代島美術館）が目印です。
- ・タクシー：新潟駅万代口から約 8 分。乗車の際、運転手に行き先を「朱鷺メッセ」と伝えて下さい。
- ・自家用車：有料駐車場を利用下さい。
- ・朱鷺メッセ内・周辺にも、飲食店・コンビニがあります。

#### 帰路のご案内

- ・新潟空港行きリムジンバスは、新潟駅南口ロータリーから発車します。
- ・朱鷺メッセ近く（南）のピア万代前から新潟空港行き路線バスもあります。
- ・佐渡汽船ターミナルから新潟空港へ直行便も出ています。人数（定員 9 名）と発車時刻に注意してください：[https://www.niigata-airport.gr.jp/access/file/mini-liner\\_20180401.pdf?20180605](https://www.niigata-airport.gr.jp/access/file/mini-liner_20180401.pdf?20180605)

## 《受 付》

- ・14～16日の大会受付は新潟大学五十嵐キャンパス 総合教育研究棟 D 棟玄関です。名札をお渡ししますので、会場では必ず着用下さい。受付時間帯は以下のとおりです：
  - 14 日（金）： 14:00～17:30（新潟大学 五十嵐キャンパス）
  - 15 日（土）： 8:15～17:30（新潟大学 五十嵐キャンパス）
  - 16 日（日）： 8:15～15:00（新潟大学 五十嵐キャンパス）
- ・17日の公開シンポジウムの受付は、朱鷺メッセ 4 階の国際会議室（マリンホール）入口です：
  - 17 日（月祝）： 9:30～11:00（朱鷺メッセ）

## 《クローク》

- ・15～16日は新潟大学 総合教育研究棟 F 棟の F274（実行委員会室）にて荷物をお預かりします（荷物は利用時間内にお引き取りください）。お預かりの時間帯は以下です。
    - 15 日（土）： 8:30～17:30（新潟大 五十嵐キャンパス）
    - 16 日（日）： 8:30～17:30（新潟大 五十嵐キャンパス）
  - ・17日の公開シンポジウム時には、会場入口付近にてお預かりします。お預かりの時間帯は以下です。
    - 17 日（月祝）： 9:30～12:30（朱鷺メッセ）
- ※貴重品・精密機器等はお預かりできません。ご自身でお持ちください。

## 《総 会》

総会は、16 日（日）16:00～18:00、新潟大学 総合教育研究棟 E 棟（E260 大講義室）で行います。学会員の方は極力ご参加ください。  
参加できない場合は、受付に用意された総会委任状を記入し、提出してください。

## 《口頭発表》

### (1)時間と機材

発表時間 12 分以内、質疑を含めて 15 分以内を厳守して下さい。使用できる機器は大会事務局が会場に用意したコンピューターです。OS は Windows 8.1、使用できるアプリケーションは MS-PowerPoint 2013（他のバージョンでファイルを作成した場合、プレゼンテーション機能の一部を利用できない恐れがあります）、または Adobe Acrobat Reader DC、使用可能なファイル形式は ppt, pptx, pdf です。なお、発表スライドの横縦比は 4:3 にしてください。動画および個人のコンピューターは、申し込み時に大会事務局に申し出た方のみ使用できます。

### (2)発表用ファイルの提出

口頭発表用のファイルは、発表の前日 17 時 30 分までに、大会受付に提出して下さい。ファイルは USB メモリーもしくは CD-R での提出とし、原則としてファイルサイズは5MB 以下とします。なお、メール添付による提出も受け付けますので、9 月 14 日（金）18 時までに専用アドレス(osj2018.happyo@gmail.com)までお送り下さい（これ以降はメールでの提出を受け付けません）。ファイル名は「会場名 (A または B) 発表番号」として下さい（例:A01）。お預かりしたファイルは、発表終了後に大会事務局が責任を持って消去します。

### (3)座長

本大会でも、口頭発表をされた方には直後の発表の座長（司会進行）を担当していただきます。皆様のご協力をお願いいたします。



## 《ポスター発表》

ポスター会場は総合教育研究棟 B 棟 2～3 階です。ポスターは A0 サイズ（横 841mm×縦 1189mm）以内になるようご用意下さい。掲示用具は大会事務局で用意します。

ポスターの掲示と撤去は各自の責任でお願いします。ポスターは 14 日（金）14:00 から 16 日（日）16:00 まで掲示しておくことができます。21:00 以降は施錠するので会場には出入りできません。16 日 16:00 以降に掲示されているポスターは大会事務局が撤去します。

各ポスターの説明は、15 日（土）午後、16 日（日）午後に設定したコアタイムで実施して頂きます。下記のコアタイムには、演者がポスターの前で説明を行って下さい。

- ・発表番号が奇数：15 日（土）14:00～16:00
- ・発表番号が偶数：16 日（日）13:00～15:00
- ・高校生ポスター発表（すべて）：16 日（日）13:00～15:00（表彰式はポスター会場で行います）

## 《日本鳥学会ポスター賞》

今大会でも、若手の独創的な研究を奨励する目的で「日本鳥学会ポスター賞」を選出します。ポスター賞応募の受付は終了しました。ポスター賞応募者は、必ず 9 月 15 日（土）9:00 までに掲示して下さい。ポスター賞受賞者の発表は 16 日（日）になります。表彰式は、16 日 16:00 から総合教育研究棟 E260 大講義室（E 棟）で開かれる総会の中で行います。  
なお、今年も株式会社モンベルより受賞者にプレゼントが贈呈されます。

## 《自由集会》

14 日（金）、15 日（土）に自由集会を開催いたします。自由集会会場には液晶プロジェクタおよびモニターケーブル 1 本（ミニ D-sub15pin）が備え付けられています。パソコンは各自自由集会の主催者をご用意ください。自由集会における会場の運営・後片付けは、主催者の責任で行って頂くようお願いいたします。

※14 日開催の自由集会の会場は、開始 15 分前まで委員会が開催されている場合があります（B251, B253, B255, B351, B353）。

## 《委員会》

下記の日程と会場で、各種委員会および評議員会を開催いたします。委員の方はお集まりください。

### ・9 月 14 日（金）

|            |             |                 |         |
|------------|-------------|-----------------|---------|
| 和文誌編集委員会   | 13:15～15:15 | 総合教育研究棟 B 棟 2 階 | B251 教室 |
| 鳥類分類委員会    | 13:15～15:15 | 総合教育研究棟 B 棟 2 階 | B253 教室 |
| 日本産鳥類記録委員会 | 13:15～15:15 | 総合教育研究棟 B 棟 2 階 | B255 教室 |
| 企画委員会      | 13:15～15:15 | 総合教育研究棟 B 棟 3 階 | B351 教室 |
| 鳥類保護委員会    | 15:45～17:45 | 総合教育研究棟 B 棟 3 階 | B351 教室 |
| 英文誌編集委員会   | 15:45～17:45 | 総合教育研究棟 B 棟 3 階 | B353 教室 |
| 広報委員会      | 15:45～17:45 | 総合教育研究棟 B 棟 3 階 | B355 教室 |
| 基金運営委員会    | 15:45～17:45 | 総合教育研究棟 F 棟 2 階 | F271 教室 |
| 評議員会       | 18:00～20:00 | 総合教育研究棟 F 棟 2 階 | F271 教室 |

※各室（B355・F271 を除く）は、委員会終了予定の 15 分後に自由集会が開催されます。

## 《懇親会》

懇親会は 16 日（日）18：30～20：30，新潟大学五十嵐キャンパスの第一学生食堂内で行います（p.2 地図参照）。懇親会会場入り口にて，大会スタッフが名札上の懇親会参加表記を確認いたしますので，必ず名札をご持参ください。名札をお持ちでない場合はご入場いただけませんのでご注意ください。

なお，今大会でも，愛鳥キャンペーン・環境活動を行っておられるサントリーホールディングス株式会社より飲み物の提供を頂いております。

## 《高校生ポスター発表》

鳥学を担う若手の発掘・育成のため，高校生（小中学生）のポスター発表を 16 日（日）に開催し，優秀な発表を表彰します。会場は総合教育研究棟 B 棟 3 階 B358 講義室です。なお，株式会社モンベルより高校生参加者にプレゼントを提供していただいております。

## 《会場での撮影・録音》

参加者の肖像権，発表における著作権に配慮し，参加者が他者や他者の発表の録音，録画，撮影等を行うことを禁止します。なお，大会事務局において，大会の記録のため写真撮影等を行うことがありますのでご了承下さい。

- ・ 発表者がご自身の講演を撮影，録音することは構いません。
- ・ 発表者本人の許可と立会いのもとで撮影，録音することは禁止しません。
- ・ 上記以外の場合は，発表者本人の許可を得た上で，事前に大会本部に申し出て下さい。腕章をお貸ししますので，撮影，録音時には着用して下さい。

いずれの場合も，撮影に際しては，他の講演や他の方が写り込まないように注意して下さい。また，大会スタッフが許可について確認させていただくことがありますが，ご理解下さい。

## 《無線 LAN》

- ・ 先着 100 名様に限り無線 LAN のアカウントを発行します。受付で申し出ください。
- ・ 高等教育研究機関で相互利用が可能な eduroam のローミングサービスは利用可能です。大学・研究所に所属されている方は自身の情報センターに確認ください。

## 《展示販売》

総合教育研究棟 B 棟 3 階の B350, B352 講義室にて企業・団体による展示販売が行われます。どうぞご利用・ご覧ください。展示企業・団体の詳細につきましては，p.29 をご覧ください。

## 《 昼 食 》

- ・ 大会受付にて、昼食の弁当を販売します。15 日（土）は 50 食、16 日（日）は 100 食の限定販売です（売り切れの場合はご容赦ください）。価格は 500 円の予定ですので、お釣りのないようをお願いいたします。
- ・ 学内の第 1 学生食堂は 15～16 日が、第 2 学生食堂は 16 日が休業となっていますので、ご注意ください。会期中、学内のローソンは営業しています。
- ・ 大学周辺には多くの食堂、コンビニ等があります。

## 《休憩室》

会期中、E 棟大講義室の入口付近（2 階・3 階とも）を休憩スペースとしてご利用できます。  
15 日～16 日には、総合教育研究棟 D 棟 2 階の D202（学生談話室）も休憩室として利用できます。

## 《託児室》

大会会場に託児室を設けています。男女共同参画推進室 1 階一番奥のプレールームです（p.2 の会場付近地図を参照）。託児サービスは事前申し込みの有料サービスで、既に受付は締め切っています。1 部屋しかありませんが、カーテンで仕切って授乳用のスペースを作ることができます。冷蔵庫・電子レンジは備え付けのものが利用可能です。飲料水用の水道が利用できませんので、ペットボトル等の飲料水をご用意ください。建物内のトイレは利用できます。

## 《会場内の禁煙》

会場は、新潟大学キャンパス、朱鷺メッセとも、全面禁煙です。禁煙にご協力下さい。

## 《 ゴ ミ 》

会場内で発生したゴミは、各自お持ち帰り下さい。



## 大会プログラム



コハクチョウ *Cygnus columbianus*

## 《公開シンポジウム》

### 『トキの放鳥から 10 年：再導入による希少鳥類の保全』

日時：2018 年 9 月 17 日（月・祝）10:00～12:30

場所：新潟コンベンションセンター朱鷺メッセ 国際会議室

コーディネーター：永田尚志（新潟大学）

#### 趣旨：

地球上の多くの地域で多くの生物が絶滅に瀕しています。このような希少種を保全する手法のひとつとして、いったん絶滅した地域に個体を移植して個体群を復元する**再導入**があります。トキの放鳥 10 周年ということで、新潟では再びトキの野生復帰への関心が高まっています。今年、新潟で鳥学会が開催される機会に、アホウドリ、クイナ類などの他の希少鳥類の再導入の事例とトキを比較して、再導入による希少鳥類の保全を成功に導くうえで何が重要かを考えてみましょう。かつて絶滅した地域に個体群を復元するためには、初めに対象種を減少・絶滅に追い込んだ要因を取り除く必要があります。また、生息環境の復元には地域社会の協力が不可欠で、鳥類専門家や行政のみでは解決できません。再導入による希少鳥類の保全についての議論を深めるために、鳥類愛好家、学生、多様な立場の一般の方の参加をお待ちしています。

#### プログラム：

|             |                      |                     |
|-------------|----------------------|---------------------|
| 10:00-10:10 | 趣旨説明：再導入とは？          | 永田尚志（新潟大学）          |
| 10:10-10:35 | 「アホウドリ移住計画はどこまで進んだ？」 | 出口智広（山階鳥類研究所）       |
| 10:35-11:00 | 「太平洋地域のクイナ類の再導入」     | 尾崎清明（山階鳥類研究所）       |
| 11:00-11:10 | （休 憩）                |                     |
| 11:10-11:35 | 「トキの野生復帰の取り組み」       | 岡久雄二（環境省佐渡自然保護官事務所） |
| 11:35-12:00 | 「トキの再導入はどこまで達成したのか？」 | 永田尚志（新潟大学）          |
| 12:00-12:30 | 総合討論                 |                     |

本公開シンポジウムは、平成 30 年度日本学術振興会科学研究費補助金（18HP0021）の助成を受けています。

《黒田賞受賞講演》

鈴木俊貴氏

(総合研究大学院大学・先導科学研究科)

「シジュウカラの単語と文法：地鳴き研究の新展開」

日時：9月16日（日）15：00～16：00

場所： 総合教育研究棟 E 棟 E260 大講義室

## 《口頭発表》

・総合教育研究棟 B 棟の A 会場(B255)と B 会場(B355)において、同時並行で行います。

### 9 月 15 日 午前 A 会場(総合教育研究棟 B 棟 B255)

| 開始時刻  | 発表番号 | タイトル                                                 | 発表者                                                                          |
|-------|------|------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------|
| 8:45  | A01  | 表参道・原宿地域の屋上緑化地周辺における鳥類の移動パターンの検出                     | ○北村亘(東京都市大学)・川崎鉄平((株)石勝エクステリア)・加藤哲彦((株)東急不動産 R&D センター)                       |
| 9:00  | A02  | 近畿大学奈良キャンパス里山林内におけるナラ枯れが鳥類群集に与える影響                   | ○松谷実璃・澤畠拓夫(近畿大・農)                                                            |
| 9:15  | A03  | 渡り鳥の群集構成と果実量が種子散布ネットワークに与える影響について                    | ○大河原恭祐(金沢大・自然システム・生物)・木村一也(石川県森林組合)・佐藤文男(山階鳥類研究所)                            |
| 9:30  | A04  | DNA バーコードでわかったミャンマーで越冬する日本の小鳥                        | ○西海功・四方田紀恵(国立科学博物館)・Win Win Nwe(Forest Research Institute, Myanmar)          |
| 9:45  | A05  | 伊豆諸島におけるカラスバトの島間移動行動                                 | ○安藤温子(国立環境研究所)・森由香(東京都鳥獣保護管理官)・佐藤望(バードリサーチ)                                  |
| 10:00 | A06  | 北海道におけるハリオアマツバメの繁殖分布と生態                              | ○米川洋・和賀大地(エデュエンス・フィールド・プロダクション)                                              |
| 10:15 | A07  | 巣箱を利用したハリオアマツバメ( <i>Hirundapus caudacutus</i> )の繁殖生態 | ○森さやか(酪農学園大・環境動物)・米川洋(エデュエンス・フィールド・プロダクション)・山口典之(長崎大・院・水環)・樋口広芳(慶応大・自然科学研教セ) |
| 10:30 | A08  | 繁殖期におけるハリオアマツバメの水平・垂直空間利用:GPS ロガーを用いた解析              | ○山口典之(長崎大・院・水環)・米川洋(エデュエンス・フィールド・プロダクション)・森さやか(酪農学園大・環境動物)・樋口広芳(慶応大・自然科学研教セ) |
| 10:45 | A09  | 奄美大島におけるリュウキュウコノハズクの繁殖成功の空間パターンと景観要因の関係              | ○井上遠(東大院・農)・松本麻依(中大・理工)・吉田丈人(東大・総合文化)・鷺谷いづみ(中大・理工)                           |
| 11:00 | A10  | リュウキュウコノハズクの鳴き声の個性と安定性の立証                            | 高木昌興(北海道大学大学院理学研究院)                                                          |
| 11:15 | A11  | セレーションの進化—フクロウ風切羽の幾何学的形態測定学—                         | ○山崎剛史(山階鳥研)・中田敏是(千葉大)・田中博人(東工大)                                              |
| 11:30 | A12  | キツツキ類の樹洞生産に関わる木材腐朽菌の非侵襲的同定手法の開発                      | ○小高信彦・高畑義啓・宮崎和弘(森林総研・九州)                                                     |
| 11:45 | A13  | カラスって、ほんとうに、すごい！—飲水時と水浴時で栓のひねり方と水量を変える—              | 樋口広芳(慶応大・自然科学研究教育センター)                                                       |
| 12:00 | A14  | 首と尾羽が可動する剥製ロボットをカラスは生きたカラスと認識するか？                    | ○塚原直樹・永田健(CrowLab)・末田航(NUS)・栗本育三郎(木更津高専)                                     |
| 12:15 | A15  | ウグイスのオスの「谷渡り鳴き」にはメスの存在が重要である                         | 濱尾章二(国立科博)                                                                   |



9 月 15 日 午前 B 会場(総合教育研究棟 B 棟 B355)

| 開始時刻  | 発表番号 | タイトル                                                         | 発表者                                                                                                                                                                                                                                           |
|-------|------|--------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 8:45  | B01  | 広島県におけるシロエリオオハムの採餌環境と潮流の関係                                   | ○藤井格・藤井香織(生物群集研究所)                                                                                                                                                                                                                            |
| 9:00  | B02  | 船舶航行が広島県のシロエリオオハム個体数減少におよぼす影響                                | ○藤井香織・藤井格(生物群集研究所)                                                                                                                                                                                                                            |
| 9:15  | B03  | 新潟県粟島で繁殖するオオミズナギドリの採餌・繁殖・渡り                                  | ○依田憲・松本祥子(名大院環境)・山本麻希(長岡技科大)                                                                                                                                                                                                                  |
| 9:30  | B04  | タイムラプスカメラ撮影画像からみた伊豆鳥島アホウドリの渡来状況と繁殖生態                         | 大坪二郎(いであ株式会社)                                                                                                                                                                                                                                 |
| 9:45  | B05  | 伊豆諸島鳥島で繁殖するクロアシアホウドリの採餌行動                                    | ○西沢文吾(北大院水産)・Jean-Baptiste Thiebot(極地研)・富田直樹(山階鳥研)・佐藤文男(山階鳥研)・依田憲(名大院環境)・綿貫豊(北大院水産)                                                                                                                                                           |
| 10:00 | B06  | 北西太平洋でのクロアシアホウドリ・コアホウドリのはえ縄混獲リスクを海洋環境で予測する                   | ○越智大介・井上裕紀子・増島雅親・大島和浩(国際水研)                                                                                                                                                                                                                   |
| 10:15 | B07  | 海鳥の餌としてハダカイワシは重要か?                                           | ○綿貫豊(北海道大学・水産科学研究院)・Jean-Baptiste Thiebot(国立極地研)                                                                                                                                                                                              |
| 10:30 | B08  | 西之島の鳥は、噴火がそれほど好き嫌い                                           | 川上和人(森林総研)                                                                                                                                                                                                                                    |
| 10:45 | B09  | 神奈川県内で新たに見つかったウミウ ( <i>Phalacrocorax capillatus</i> ) の塹について | 田中雅宏(日本大学生物資源科学部博物館)                                                                                                                                                                                                                          |
| 11:00 | B10  | 北海道対馬暖流域の 3 つのウトウ繁殖地における餌の利用可能性と雛の肥満度の関係                     | ○大門純平(北大)・伊藤元裕(東洋大)・長谷部真(北海道海鳥保全研究会)・庄子晶子・林はるか(北大)・佐藤信彦(東大)・越野陽介(道さけます内水試)・島袋羽衣・高橋晃周(極地研)・渡辺謙太・桑江朝比呂(港空研)・綿貫豊(北大)                                                                                                                             |
| 11:15 | B11  | 東京都心のウミネコのビル街屋上繁殖および内湾運河部橋梁での繁殖                              | ○富田直樹(山階鳥研)・松丸一郎(都市鳥研究会)・澤祐介(バードライフ)・佐藤達夫(行徳野鳥観察舎友の会)・奴賀俊光(日本野鳥の会)・平田和彦(千葉県立中央博)・樋口広芳(慶應大・自然科学研教セ)                                                                                                                                            |
| 11:30 | B12  | オジロワシの飛来頻度とカモメ捕食量                                            | ○橋本詩津久 <sup>1</sup> ・風間健太郎 <sup>1</sup> ・松田実希 <sup>2</sup> ・風間麻未 <sup>1</sup> ・高島孝宗 <sup>3</sup> ・村山良子 <sup>3</sup> ・白木彩子 <sup>2</sup> ・綿貫豊 <sup>1</sup> ( <sup>1</sup> 北海道大学 水産科学院, <sup>2</sup> 東京農業大学 生物産業学部, <sup>3</sup> オホーツクミュージアムえさし) |
| 11:45 | B13  | 鳥類によるサケ稚魚食害の実態解明                                             | ○佐藤信彦(東大大海研)・伊藤元裕(東洋大)・北川貴士(東大大海研)                                                                                                                                                                                                            |
| 12:00 | B14  | 長野県の千曲川で繁殖するコチドリの越冬地と重要な中継地                                  | ○笠原里恵(弘前大)・森本元(山階鳥研)・北村亘(東京都市大)・今西貞夫(国分寺市)・東信行(弘前大)                                                                                                                                                                                           |
| 12:15 | B15  | 都市近郊の小規模な人工干潟で確認された鳥類の変遷・阪南 2 区人工干潟の 14 年                    | ○風間美穂(市立きしわだ自然資料館)・中村進(大阪府立岸和田高等学校)                                                                                                                                                                                                           |

(口頭発表つづき)

9 月 16 日 午前 A 会場(総合教育研究棟 B 棟 B255)

| 開始時刻  | 発表番号 | タイトル                                          | 発表者                                                                       |
|-------|------|-----------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------|
| 8:45  | A16  | 絶滅ムコジマメグロのミトコンドリアゲノムの復元                       | ○杉田典正(科博・植物)・長太伸章(科博・標本資料センター)・山崎剛史(山階鳥研)・川上和人(森林総研)・西海功(科博・動物)           |
| 9:00  | A17  | コムクドリの帰還とつがい関係                                | 小池重人(日本野鳥の会新潟県)                                                           |
| 9:15  | A18  | コムクドリの繁殖メスによる巣の遺棄とその後の再営巣の事例                  | 竹中万紀子(東海大・生物)                                                             |
| 9:30  | A19  | 半分青い～構造色発色機構を考える・インヒヨドリの青いオスと青くないオス～          | 森本元(山階鳥研)                                                                 |
| 9:45  | A20  | イスカがアブラムシを食べていた—その食べ方からの考察                    | ○三上かつら(バードリサーチ)・三上修(北海道教育大函館校)                                            |
| 10:00 | A21  | ノジコの局地的な繁殖分布を決める環境要因—1990 年代の全国鳥類繁殖分布調査の結果から— | ○出口翔大(福井市自然史博)・上田羊介                                                       |
| 10:15 | A22  | 埼玉県東松山市周辺のカオグロガビチョウとガビチョウの生息と現状               | 内田博(比企野生生物研究所)                                                            |
| 10:30 | A23  | ライチョウの雛は母親のうんちを食べて腸内細菌を手に入れる                  | ○小林篤(東邦大)・土田さやか(中部大)・上田敦史(東工大)・山田拓司(東工大)・村田浩一(日大)・中村浩志(中村鳥類研究所)・牛田一成(中部大) |
| 10:45 | A24  | コウノトリの定着とペア形成のプロセス                            | 伊崎実那(兵庫県立大 大学院)                                                           |
| 11:00 | A25  | コウノトリ再導入個体群の社会構造 - フローターと居候 -                 | ○桑原里奈(兵庫県立大)・江崎保男(兵庫県立大)                                                  |
| 11:15 | A26  | 鳥インフルエンザウィルス 野鳥 養鶏 トキ ヒト社会との関わり               | 小柳充(新潟大学 農学部)                                                             |
| 11:30 | A27  | 統合個体群モデルおよびベイズ存続可能性分析によるトキ野生復帰の現状評価           | ○岡久雄二(環境省佐渡自然保護官事務所)・永田尚志(新潟大 朱鷺・自然再生学研究センター)                             |

9月16日 午前B会場(総合教育研究棟B棟B355)

| 開始時刻  | 発表番号 | タイトル                                           | 発表者                                                                                                                      |
|-------|------|------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 8:45  | B16  | GPS-TXによって明らかとなった越冬期のオオハクチョウ, カモ類の環境選択         | ○嶋田哲郎(伊豆沼財団)・植田睦之(バードリサーチ)・高橋佑亮(伊豆沼財団)・内田聖(里山自然史研究会)・時田賢一(岩手大)・杉野目斉(仙台市)・三上かつら(バードリサーチ)・矢澤正人(数理設計研究所)                    |
| 9:00  | B17  | GPS 発信機を用いたコクガンの日周行動の解明                        | ○澤祐介(バードライフ)・池内俊雄(雁の里親友の会)・田村智恵子(新潟県水鳥湖沼ネットワーク)・嶋田哲郎(伊豆沼財団)・藤井薫・石下垂衣紗(道東コクガンネットワーク)・David Ward(アメリカ地質調査所)・Cao Lei(中国科学院) |
| 9:15  | B18  | 新潟県佐潟におけるトリマラリア原虫の流行状況                         | ○金京純(鳥取大)・千葉晃(日本歯科大)・高辻洋・白井康夫・木下徹・小野島学(日本鳥類標識協会にいがたグループ)                                                                 |
| 9:30  | B19  | フェオメラニン由来の正直な信号システムの生理的・遺伝的制御                  | ○長谷川絵美(東北大・院・生命)・長谷川克(総研大・先導)・牧野能士(東北大・院・生命)・萩野顕彦(東北大・院・農)・酒井祐輔(東北大・院・生命)・大槻朝(東北大・院・生命)・若松一雅(藤田保健衛生大・化学)・河田雅圭(東北大・院・生命)  |
| 9:45  | B20  | Single Shot MultiBox Detector を用いた鳥類の鳴き声検出と種判別 | ○堀尾亮太(大阪大学)・松井孝典(大阪大学)・前川侑子(国際航業(株))・牛込祐司(国際航業(株))・黒田治男(日本鳥学会)・町村尚(大阪大学)                                                 |
| 10:00 | B21  | 日本におけるレーダーを用いた夜間の渡り鳥の動向調査                      | 萩原陽二郎・○田悟和巳・高橋明寛・益子理(いであ株式会社)・有山義昭(環境省)・樋口広芳(慶応大学)                                                                       |
| 10:15 | B22  | 風力発電所建設による鳥類の繁殖密度への影響(2年目)                     | 武田恵世(日本野鳥の会・三重)                                                                                                          |
| 10:30 | B23  | 猛禽類の風力発電に対する飛翔の距離の変化                           | ○西林直哉(東京都市大)・北村亘(東京都市大)・吉崎真司(東京都市大)                                                                                      |
| 10:45 | B24  | オオタカの渡り, 漂行, 定住とつがい解消率                         | ○阿部學・橋本哉子・中島拓也「ラプタージャパン(日本猛禽類研究機構)」                                                                                      |
| 11:00 | B25  | ノスリ( <i>Buteo japonicus</i> )の渡り行動と利用環境解析      | 阿部學・○中島拓也 ラプタージャパン(日本猛禽類研究機構)                                                                                            |
| 11:15 | B26  | 分布北限におけるサシバの生息地評価: 北の猛禽ノスリと餌生物ハタネズミの影響を調べる     | ○藤田剛(東大)・東淳樹(岩手大)・宮下直(東大)                                                                                                |

## 《ポスター発表》

・15 日(土) 14:00～16:00(奇数番号の発表コアタイムを含む)

・16 日(日) 13:00～15:00(偶数番号の発表コアタイムを含む) #はポスター賞応募の発表

| 発表<br>番号 | 会場   | タイトル                                      | 発表者                                                                                                                          |
|----------|------|-------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| P001     | B254 | 鳥ハンターの特性と、鳥獣管理の担い手たる狩猟者としての可能性？           | ○高橋満彦(富山大)・上田剛平(榊野生鳥獣対策連携センター)                                                                                               |
| P002     | B254 | 日本における鳥類の高病原性鳥インフルエンザ防疫体制の実態調査            | ○細田凜・牛根奈々・森口紗智子・羽山伸一(日獣大)                                                                                                    |
| P003     | B254 | 野鳥における鳥インフルエンザ監視体制の改善に向けたサーベイランス関係者からの要望  | ○森口紗智子・牛根奈々・細田凜・羽山伸一(日獣大・獣医)                                                                                                 |
| P004#    | B254 | トラフズクのペリットに対するメタバーコーディング技術の応用             | ○清水拓海(慶應義塾大学)・夏川遼生(横浜国立大)・湯浅拓輝(慶應義塾大学)・一ノ瀬友博(慶應義塾大学)・黒田裕樹(慶應義塾大学)                                                            |
| P005     | B254 | 音情報を活用したフクロウの歌行動観測の試み                     | ○松林志保(大阪大学)・斎藤史之(いであ株式会社)・鈴木麗瑩(名古屋大学)・中臺一博(東京工業大学, HRI-JP)・奥乃博(早稲田大学)                                                        |
| P006#    | B254 | 複数のマイクロホンアレイの遠隔制御に基づく鳥類の歌行動の二次元定位         | ○森松健充(名古屋大)・炭谷晋司(名古屋大)・鈴木麗瑩(名古屋大)・松林志保(大阪大)・有田隆也(名古屋大)・中臺一博(東工大, HRI)・奥乃博(早稲田大)                                              |
| P007     | B254 | 風力発電所のバードストライクに影響するマルチスケールの環境要因           | ○北野雅人((株)竹中工務店)・谷津繁芳((株)森林環境リアライズ)・深谷肇一(国立環境研究所)                                                                             |
| P008#    | B254 | ロボット聴覚技術に基づく鳥類の歌行動の二次元定位精度改善と次元圧縮に基づく分類支援 | ○炭谷晋司(名古屋大)・鈴木麗瑩(名古屋大)・松林志保(大阪大)・有田隆也(名古屋大)・中臺一博(東工大, HRI)・奥乃博(早稲田大)                                                         |
| P009     | B254 | 畳み込みニューラルネットワークを用いた鳴き声による鳥類の種判別           | ○牛込祐司(国際航業(株))・前川侑子(国際航業(株))・堀尾亮太(大阪大学大学院工学研究科)・松井孝典(大阪大学大学院工学研究科)・黒田治男(日本鳥学会会員)・町村尚(大阪大学大学院工学研究科)                           |
| P010#    | B254 | マイクロホンアレイを用いた鳥類の歌行動の三次元音源到来方向推定           | ○林晃一郎(名古屋大)・鈴木麗瑩(名古屋大)・松林志保(大阪大)・有田隆也(名古屋大)・小島諒介(京大)・中臺一博(東工大・HRI-JP)・奥乃博(早稲田大)                                              |
| P011     | B254 | 太陽光発電事業に係る鳥類への環境影響要因に係る一考察                | 尾原正敬((株)千代田コンサルタント)                                                                                                          |
| P012#    | B254 | 糞から得た DNA 塩基配列による鳥類の種同定方法の開発              | ○田原大督・岡本真帆・大矢樹・名波哲・伊東明(大阪市立大学)                                                                                               |
| P013     | B254 | SM4-Bat を用いたコウモリの高高度評価と周辺環境の影響評価          | ○見上伸(株)日立パワーソリューションズ)・高橋雅也(株)日立パワーソリューションズ)・鷺谷隆太(株)日立パワーソリューションズ)・奥地城夫(日立サステナブルエナジー(株))・福井聡(一般財団法人日本気象協会)・魚崎耕平(一般財団法人日本気象協会) |
| P014#    | B254 | ライチョウの集団遺伝構造とその規定要因                       | ○坂本大地(九州大)・長太伸章(科博)・中村浩志(中村浩志国際鳥類研)・西海功(科博)                                                                                  |

| 発表<br>番号 | 会場   | タイトル                                              | 発表者                                                                                                                                    |
|----------|------|---------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| P015     | B254 | ニホンライチョウ分布南限地域の標識調査でみえてきた定着と季節移動                  | ○朝倉俊治* <sup>1</sup> ・増田章二* <sup>1</sup> ・近藤多美子* <sup>1</sup> ・堀田昌伸* <sup>2</sup> （* <sup>1</sup> 静岡ライチョウ研究会 * <sup>2</sup> 長野県環境保全研究所） |
| P016#    | B254 | 北アルプスと頸城山塊のライチョウ個体群を対象とした生息適地推定                   | ○渡邊茉莉（新潟大）・望月翔太（新潟大）・長野康之（国際自然環境アウトドア専門学校）・村上拓彦（新潟大）                                                                                   |
| P017     | B254 | 新潟県 4 湖沼における 2001 年～2018 年までのハクチョウ類の経年変化と季節消長     | ○岡田成弘・佐藤安男・本間隆平・佐藤巖・樋口靖偉・浅野涼太・成海信之・小林博隆・田村智恵子・本田茂夫                                                                                     |
| P018#    | B254 | オシドリ奥様のご近所づきあい～種内托卵に根差した生活史研究～                    | ○坂本春菜（北大・理）・青木大輔（北大院・理）・新田啓子（日本オシダリの会）・高木昌興（北大院・理）                                                                                     |
| P019     | B254 | 給餌中止により越冬地を変えたオナガガモ                               | ○神山和夫・佐藤望（バードリサーチ）                                                                                                                     |
| P020#    | B254 | 風車への衝突リスク低減を目指したオオヒシクイの三次元的センシティビティマップの提案         | ○佐藤一海・向井喜果・鎌田泰斗（新潟大・院・自然科学）・森口紗千子（日獣大・獣医）・関島恒夫（新潟大・農）                                                                                  |
| P021     | B254 | 環境省ガンカモ類生息調査結果と異なり宮城県と岩手県南部にはコハクチョウが多数越冬する（その 2）  | 平泉秀樹（日本雁を保護する会）                                                                                                                        |
| P022     | B254 | 市民調査によるガン類の日中の分布調査結果 2018                         | ○齋藤肇（雁爺とゆかいな仲間たち）・船橋玲二（雁爺とゆかいな仲間たち）                                                                                                    |
| P023     | B254 | 兵庫県豊岡市に生息する野外コウノトリの採食効率                           | 栗山（武田）広子（豊岡市立コウノトリ文化館）                                                                                                                 |
| P024#    | B254 | 繁殖期における飼育下フンボルトペンギンの糞中性ステロイドホルモン動態について            | ○長村麻央・託見健・清水慶子（岡山理大）・他                                                                                                                 |
| P025     | B256 | 琵琶湖の竹生島における江戸時代後期以降のカワウの生息状況変遷                    | 藤井弘章（近畿大）・○亀田佳代子（琵琶湖博）・牧野厚史（熊本大）・前迫ゆり（大阪産業大）                                                                                           |
| P026     | B256 | 神奈川県におけるサギ類集団繁殖地の変遷                               | ○加藤ゆき（神奈川県立生命の星・地球博物館）・葉山久世（かながわ野生動物サポートネットワーク）                                                                                        |
| P027     | B256 | 立川市柴崎町の市街地におけるアオサギの繁殖状況と繁殖地移動の要因                  | 白井剛（都留文科大／和光大）                                                                                                                         |
| P028#    | B256 | 新潟県内のサギコロニーから確認されたコブスジコガネ相                        | ○浅野涼太（Bio connect）・小橋阜平（Bio connect）・小川和也（新潟大）                                                                                         |
| P029     | B256 | 鷺山との適度な距離とは                                       | 益子美由希（国総研）                                                                                                                             |
| P030#    | B256 | ハリオアマツバメ（ <i>Hirundapus caudacutus</i> ）の巣内雛への給餌物 | ○千葉舞（酪農学園大・環境動物）、米川洋・和賀大地（エデュエンス・フィールド・プロダクション）、森さやか（酪農学園大・環境動物）、山口典之（長崎大・院・水環）、樋口広芳（慶應大・自然科学研教セ）                                      |
| P031     | B256 | 歴史資料から復元する江戸時代のツル類の分布と渡りの実態                       | 久井貴世（北大院・文学／（公財）日本生態系協会）                                                                                                               |
| P032     | B256 | タンチョウの鳴き合いと資源との関係性                                | 武田浩平（総研大）                                                                                                                              |
| P033     | B256 | タンチョウの卵の形態的特徴                                     | ○吉野智生（釧路市動物園、酪農大・獣医）・井上雅子（タンチョウ保護研究グループ）                                                                                               |

## (ポスター発表続き)

| 発表<br>番号 | 会場   | タイトル                                              | 発表者                                                                                                                                                                                            |
|----------|------|---------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| P034     | B256 | ドローンによるツル類羽数計測の試み                                 | ○原口優子(出水市ツル博物館クレインパークいずみ)・神山和夫(バードリサーチ)・宮崎泰子(出水のツルと野生生物研究会)                                                                                                                                    |
| P035     | B256 | ヤンバルクイナの救護卵と飼育下繁殖の卵の比較                            | ○中谷裕美子(NPO どうぶつたちの病院沖縄)・玉那覇彰子(NPO)・向真一郎(NPO)・金城道男(NPO)・小野宏治(環境省)・長嶺隆(NPO)                                                                                                                      |
| P036     | B256 | ヤンバルクイナの基盤使用行動と脳におけるウルの発達                         | ○中尾達郎(帝京科学大・生命環境)・山崎剛史(山階鳥研)・荻原直道(慶應大・理工/東大・院・理学)・島田将喜(帝京科学大・生命環境)                                                                                                                             |
| P037     | B256 | 北海道におけるシマクイナの夏季の生息状況                              | ○貞國利夫(釧路市博)・高橋雅雄(日本学術振興会／弘前大・農生)・宮彰男・磯貝和秀・古山隆(NPO 法人おおせつからんど)・松岡和樹(緑地域環境計画)・先崎理之(日本学術振興会／国立環境研究所)・北沢宗大(北大院・農)・原田修(日本野鳥の会)                                                                      |
| P038     | B256 | 市民参加によるシギ・チドリ of 春の初認調査-”季節前線シギチドリ”-              | 守屋年史(バードリサーチ)                                                                                                                                                                                  |
| P039     | B256 | 新潟県下越海岸におけるミュビシギの一般生態                             | 千葉晃(日本鳥類標識協会)                                                                                                                                                                                  |
| P040     | B256 | 北海道におけるオオジシギの繁殖個体数の推定                             | ○浦達也(日本野鳥の会・東京都市大)・竹前朝子(日本野鳥の会)・田尻浩伸(日本野鳥の会)・中村聡(日本野鳥の会)・葉山政治(日本野鳥の会)・大畑孝二(日本野鳥の会)・富岡辰先(日本野鳥の会)                                                                                                |
| P041     | B256 | 本州以南におけるオオジシギの繁殖状況                                | ○竹前朝子 <sup>1</sup> ・田尻浩伸 <sup>1</sup> ・浦達也 <sup>1,2</sup> ・大畑孝二 <sup>1</sup> ・富岡辰先 <sup>1</sup> ・中村聡 <sup>1</sup> ・葉山政治 <sup>1</sup> ( <sup>1</sup> ・公益財団法人 日本野鳥の会 <sup>2</sup> ・東京都市大・院・環境情報) |
| P042#    | B256 | 形態的に異なる2タイプのチュウジシギ <i>Gallinago megala</i> の遺伝的関係 | ○小田谷嘉弥(我孫子市鳥の博物館)・山崎剛史・齋藤武馬(山階鳥類研究所)                                                                                                                                                           |
| P043     | B256 | プレイバック調査によるタマシギの発見率および生息環境要因の推定                   | ○片山直樹(農研機構・農環研セ)・小田谷嘉弥(我孫子鳥博)                                                                                                                                                                  |
| P044     | B256 | 津軽海峡の鳥類相:函館-大間航路 2006~2010年の記録                    | ○倉沢康大・平田和彦(北大・水産)                                                                                                                                                                              |
| P045     | B256 | Migration of Black-tailed Gulls in East Asia      | ○Tehan Kang(KoEco)・Si-Wan Lee(KoEco)・Hansoo Lee(KoEco)・Hee-young Chae(KNPS)                                                                                                                    |
| P046#    | B256 | 神田川を遡上するカモメ科鳥類の個体の分布および移動状況の検討                    | ○竹重志織(放送大)・加藤和弘(放送大)                                                                                                                                                                           |
| P047     | B256 | オオセグロカモメとワシカモメの季節移動と通年の環境利用:漁港への高い依存性             | ○風間健太郎(北海道大)・先崎啓究(道央鳥類研究グループ)・安武与樹クロス・馬鋭・橋本詩津久(北海道大)・先崎愛子(道央鳥類研究グループ)・風間麻未・西沢文吾・綿貫豊(北海道大)                                                                                                      |
| P048#    | B256 | 北海道北部で繁殖するウミネコとオオセグロカモメに対する侵略的外来種アライグマの脅威         | ○風間麻未(北大)・橋本詩津久(北大)・林航平(WMO)・臼井平(オホーツクミュージアムえさし)・高畠孝宗(オホーツクミュージアムえさし)・村山良子(オホーツクミュージアムえさし)・風間健太郎(北大)                                                                                           |

| 発表<br>番号 | 会場   | タイトル                                           | 発表者                                                                                                                                                                                                                                                  |
|----------|------|------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| P049     | B258 | 海鳥における水銀汚染と酸化ストレスの関係                           | ○谷日向子(名城大・農), 新妻靖章(名城大・農), 水谷友一(名古屋大学院)                                                                                                                                                                                                              |
| P050#    | B258 | 加速度計を用いたウミネコの採餌トリップ中の行動分類                      | ○馬鋭・風間健太郎・塚本祥太・風間麻未・綿貫豊(北海道大)                                                                                                                                                                                                                        |
| P051     | B258 | ウミネコにおける個性と安静代謝量の関係                            | 西尾昂也・若尾直紀・○新妻靖章(名城大学農学部環境動物学研究室)                                                                                                                                                                                                                     |
| P052     | B258 | ウミネコとニワトリの初期栄養特性の比較                            | ○太田能之・久木田結愛・長谷川悦子・白石純一(日獣大)・風間麻未・風間健太郎・綿貫豊(北大水産)                                                                                                                                                                                                     |
| P053     | B258 | 沖縄で繁殖するコアジサシと東日本で繁殖するコアジサシは異なる個体群か?            | ○早川雅晴(植草学園大)・藤井幹(日本鳥類保護連盟)・室伏龍(元日本鳥類保護連盟)・北村亘(東京都市大)・鈴木美恵子(元名古屋市立大)・松原和純(関西学院大)・金澤智(名古屋市立大)・森山昭彦(中部大)                                                                                                                                                |
| P054     | B258 | 北海道東部の3海域におけるトウゾクカモメ類の洋上分布                     | ○千嶋淳 <sup>1,2,3</sup> ・片岡義廣 <sup>2</sup> ・青木則幸 <sup>2</sup> ・長雄一 <sup>2,4</sup> ・久保清司 <sup>3,5</sup> ・小林万里 <sup>6</sup> (1 道東鳥類研究所, 2 エトピリカ基金, 3 浦幌野鳥倶楽部, 4 道総研環境科学研究センター, 5 野鳥の会十勝支部, 6 東京農業大学)                                                     |
| P055     | B258 | 海鳥の越冬期の行動が繁殖地への汚染物質輸送に与える影響                    | ○庄子晶子(北大)・K. Elliott(McGill Univ.)・S. Aris-Brosou(Ottawa Univ.)・水川葉月・中山翔太・池中良徳・石塚真由美(北大・獣医)・桑江朝比呂・渡辺謙太(航港研)・綿貫豊(北大)                                                                                                                                  |
| P056#    | B258 | 北海道礼文島トド島で繁殖するウトウの採餌海域                         | ○安積紗羅々・風間健太郎・馬鋭・風間麻未・綿貫豊(北大・院・水産)                                                                                                                                                                                                                    |
| P057     | B258 | 伊豆諸島と隠岐島の周辺で繁殖するカンムリウミスズメの移動経路の解明              | ○手嶋洋子 <sup>1</sup> ・森茂晃 <sup>2</sup> ・佐藤仁志 <sup>7</sup> ・深谷治 <sup>5</sup> ・中村豊 <sup>4</sup> ・山本裕 <sup>1</sup> ・森貴久 <sup>3</sup> ・山本誉士 <sup>6</sup> ・田尻浩伸 <sup>1</sup> (1 日本野鳥の会 2 ホシザキグリーン財団 3 帝京科学大学 4 宮崎野生動物研究会 5 隠岐しぜんむら 6 統計数理研究所 7 日本野鳥の会島根県支部) |
| P058#    | B258 | 北海道天売島におけるウミガラス( <i>Uria aalge</i> )のつがい毎の給餌生態 | ○北川達朗(北大院・水産)・森さやか(酪農学園大・環境動物)                                                                                                                                                                                                                       |
| P059     | B258 | 繁殖期における神子元島のカンムリウミスズメの巣への出入りとカラスの出現            | 津野圭太(帝京科学大)・田尻浩伸(日本野鳥の会)・手嶋洋子(日本野鳥の会)・○森貴久(帝京科学大)                                                                                                                                                                                                    |
| P060     | B258 | 徳島県牟岐町海域でのカンムリウミスズメの繁殖確認                       | ○武石全慈・大槻都子(海鳥保全グループ)・Darrell L. Whitworth・Michael Parker(California Institute of Environmental Studies)                                                                                                                                              |

## (ポスター発表続き)

| 発表<br>番号 | 会場   | タイトル                                                    | 発表者                                                                                                                               |
|----------|------|---------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| P061     | B258 | 新潟県信濃川中流域で越冬するオジロワシの番いについて一越冬期の番いの絆はどのように維持されるのかー       | 横山美津子(新潟県野鳥愛護会)・〇渡辺央(新潟県野鳥愛護会)                                                                                                    |
| P062#    | B258 | ミサゴ趾骨格の可動状況および比較形態学的解析                                  | 〇萩野恭伍, 佐々木基樹, 都築直, 北村延夫(帯畜大)・西海功(科博)・岩見恭子(山階鳥類研)・川瀬啓祐(大牟田市動物園)・齊藤慶輔(猛禽類医学研究所)・坂東元, 池谷優子, 中村亮平, 佐藤伸高(旭山動物園)・小野香織(野毛山動物園)・山田一孝(麻布大) |
| P063     | B258 | 安定同位体比から見たオジロワシの長期的な食性の変化                               | 〇岩見恭子(山階鳥研)・富田直樹(山階鳥研)・渡辺有希子(猛禽類医学研)・齋藤慶輔(猛禽類医学研)                                                                                 |
| P064#    | B258 | 巢内カメラを用いた内陸ミサゴの餌内容解析 ― 外来魚利用の実態―                        | 〇榊原貴之(岩手大・院)・野口将之(魚鷹研究チーム)・吉井千晶((株)建設技術研究所)・東淳樹(岩手大・農)                                                                            |
| P065     | B258 | オジロワシ幼鳥の分散過程と環境利用の解明                                    | 〇藪原佑樹(徳島大)・赤坂卓美(帯畜大)・外山雅大(根室市歴史と自然の資料館)・原拓史(Birds' Vision)・中島拓也(ラブタージャパン)・阿部學(ラブタージャパン)・小西敢(浜頓別町役場)・山内彬弘(徳島大)・河口洋一(徳島大)           |
| P066#    | B258 | 岩手県沿岸部におけるミサゴ育雛期の餌内容                                    | 〇森航大(岩手大)・榊原貴之(岩手大・院)・野口将之(魚鷹研究チーム)・吉井千晶(株)建設技術研究所)・東淳樹(岩手大)                                                                      |
| P067     | B258 | 北海道北部オホーツク海側に生息するチュウヒの営巣環境について                          | 〇土門優介・工藤晃央・鈴木祐太郎・中村紘喜・宮庄理子((株)ドーコン)・一北民郎(北電総合設計(株))・先崎啓究・先崎愛子(道央鳥類調査グループ)・川崎康弘・川崎里実(日本野鳥の会オホーツク支部)                                |
| P068     | B258 | 水田に依存しないサシバ: 田植え時期の遅れと餌の種プールの効果?                        | 〇鬼頭健介(東大)・藤田剛(東大)・伊関文隆(希少生物研究会)・宮下直(東大)                                                                                           |
| P069     | B258 | 四国西南部におけるサシバの秋の渡りへの風力発電の影響 ― 定点調査から分かってきたこと―            | 〇橋越清一(愛媛大学院・日本野鳥の会愛媛)・楠木憲一(日本野鳥の会愛媛)・平田智法・平田しおり・晴佐織(宇和島市)                                                                         |
| P070#    | B258 | 南大東島におけるリュウキュウコノハズクのなわばり定着様式の検討                         | 〇小野遥(北大)・澤田明(北大・理学院)・高木昌興(北大・理学研究院)                                                                                               |
| P071     | B258 | オガサワラノスリの幼鳥は出生地ではない営巣地を避けているか                           | 〇葉山雅広(東北鳥類研究所小笠原支部)・野中純(NPO 法人オオタカ保護基金)・由井正敏(東北鳥類研究所)                                                                             |
| P072#    | B258 | 北海道におけるエゾフクロウ <i>Strix uralensis japonica</i> の営巣地選択の要因 | 〇長門石涼平(東農大院・生物産業)・白木彩子(東農大・生物産業)                                                                                                  |



| 発表<br>番号 | 会場   | タイトル                                 | 発表者                                                                                                                                                                                      |
|----------|------|--------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| P073     | B354 | 猛禽類観察でのドローンの有効性(クマタカ営巣地での使用例)        | ○中島京也・竹田義次・片野拓(日本ワシタカ研究センター)                                                                                                                                                             |
| P074#    | B354 | 近世蝦夷地におけるシマフクロウの認識・価値・利用             | 山本晶絵(北大院・文学)                                                                                                                                                                             |
| P075     | B354 | 長野県中野市で夏期まで繁殖したチョウゲンボウの環境利用          | ○本村健(中野市教育委員会)・常田英士(十三崖チョウゲンボウ応援団)・藤井幹(日本鳥類保護連盟)・松永聡美(日本鳥類保護連盟)                                                                                                                          |
| P076#    | B354 | キジバトの2つのハプロタイプ系統群はどのように分布するか?        | ○小島みずき(九州大・院/生態計画研究所)・西海功(国立科学博物館)                                                                                                                                                       |
| P077     | B354 | 伐採時に木を残す保残伐施業地で繁殖したクマゲラ              | ○雲野明(道総研・林業試験場)・山浦悠一(森林総研)                                                                                                                                                               |
| P078     | B354 | 羽毛の小羽枝構造の特徴からみたスズメ目とキツツキ目の識別について     | 藤井幹(日本鳥類保護連盟)                                                                                                                                                                            |
| P079     | B354 | モズの抱卵を支える仕組み:雌の餌乞いと雄の給餌              | 遠藤幸子(東京農大)                                                                                                                                                                               |
| P080#    | B354 | 絶滅した自然集団のDNAから生物が新しい集団形成を可能にする条件を探る  | ○青木大輔(北大院・理)・松井晋(東海大・生物)・永田純子(森林総研)・千田万里子(山階鳥研)・野間野史明(総研大・先端科学)・高木昌興(北大院・理)                                                                                                              |
| P081     | B354 | 山地でのウグイスの減少・低地での増加                   | ○植田睦之(バードリサーチ)・葉山政治(日本野鳥の会)                                                                                                                                                              |
| P082#    | B354 | モズのオスのさえずりは、父親としての給餌能力の高さを示す正直な指標である | ○西田有佑(バードリサーチ)・高木昌興(北海道大)                                                                                                                                                                |
| P083     | B354 | 画像検索で見えてきたメジロの一腹卵数の地理的変異             | ○堀江明香(大阪市立自然史博)・武山智博(岡山理科大・生物地球)                                                                                                                                                         |
| P084#    | B354 | 同一地域で繁殖する希少種アカモズと近縁種モズの営巣環境          | ○水村春香(東大)・久保田耕平(東大)・樋口広芳(慶応大)                                                                                                                                                            |
| P085     | B354 | スズメは糸の色や素材により侵入頻度を変えるのか              | 山口恭弘(農研機構・中央農研・鳥獣害グループ)                                                                                                                                                                  |
| P086#    | B354 | リンゴ果樹園におけるアカモズの分布と栽培・管理方法との関係        | ○松宮裕秋(信州大)・原星一(元信州大)・堀田昌伸(長野県環境保全研)・泉山茂之(信州大)                                                                                                                                            |
| P087     | B354 | 2017年～2018年にかけてのシマアオジの調査及び保全活動       | E.Syroechkovskiy・P. Ktitorov (Birds Russia)・N. Batbayar・B. Davaasuren (WSCC Mongolia)・尾崎清明(山階鳥研)・葉山政治・山本裕(日本野鳥の会)・玉田克巳(道総研)・長谷部真(NPO サロベツ・エコ・ネットワーク)・余日東・傅詠芹・楊莉琪(香港観鳥会)・○シンバ・チャン(BLI 東京) |
| P088#    | B354 | 新潟県下越地方におけるチゴモズの生息状況                 | ○高岡奏多(新潟薬科・薬)・北沢宗大(北大院・農)                                                                                                                                                                |

(ポスター発表続き)

| 発表<br>番号 | 会場   | タイトル                                              | 発表者                                                                     |
|----------|------|---------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------|
| P089     | B354 | 登山者の目がホシガラスの分布を解き明かす — 高山性鳥類モニタリングの未来—            | 高木憲太郎(バードリサーチ)                                                          |
| P090#    | B354 | 福井市におけるオナガのテリトリー分布について                            | ○亀井夢乃(金沢大・院・自然科学)・三浦麻(福井大・教育)                                           |
| P091     | B354 | ハシブトガラスの巣, 下から見るか, 空から見るか ~どび&まびの冒険~              | ○森下英美子(文京学院大)・松原始(東大総合研究博物館)                                            |
| P092#    | B354 | 佐賀市内におけるミヤマガラスの越冬生態                               | ○服部南・松田浩輝・側垣共生・中村頌湧・徳田誠(佐賀大・農)                                          |
| P093     | B354 | 新潟県長岡市におけるカラス 2 種の営巣数の推移 —市民参加型調査による長期モニタリング記録より— | 渡辺央・横山美津子・古川英夫・五十嵐正義(長岡野鳥の会)・○鳥居憲親(長岡市立科学博物館)                           |
| P094#    | B354 | 蝦夷地におけるワタリガラスの生息及びアイヌ民族との関わり                      | 許開軒(北海道大)                                                               |
| P095     | B354 | ごみ集積所でのカラスによるごみ荒らし防止装置の効果                         | ○永田健(CrowLab)・塚原直樹(CrowLab)                                             |
| P096#    | B354 | 北海道樽前山のガレ場に生息するヒバリの生息状況                           | ○伊藤陽平(東海大)・松井晋(東海大)・上田恵介(立教大)                                           |
| P097     | B356 | カラスの飛来侵入を妨げる糸の設置間隔と設置高さ                           | ○吉田保志子・佐伯緑(農研機構・中央農研・鳥獣害)                                               |
| P098#    | B356 | 土壌鉛汚染がツバメの繁殖に与える影響 ~糞を用いた鉛モニタリング~                 | ○宮田瑞輝(名城大・農)・新妻靖章(名城大・農)                                                |
| P099     | B356 | 市民調査で調べたツバメの巣の分布調査の解析 ~緑被地率の変化との関係                | ○秋山幸也(相模原市博)・渡邊謙二(日本野鳥の会 神奈川支部)・伊藤洋佑(相模原市自然環境観察員制度)・高野真帆(北里大)・吉永龍起(北里大) |
| P100     | B356 | 小笠原諸島と伊豆諸島 ツバメの春の渡り 2018                          | 重原美智子                                                                   |
| P101     | B356 | 自動解析のためのトラツグミの鳴き声特徴量抽出                            | 大坂英樹(こまたん)                                                              |
| P102     | B356 | イソヒヨドリはなぜ内陸部に進出するのか 第 2 報 ~東京都八王子市および近隣の状況を中心として~ | ○川内博・粕谷和夫(都市鳥研究会)                                                       |
| P103     | B356 | 市街地において繁殖したイソヒヨドリの食性                              | 岩本二郎(我孫子市役所)                                                            |
| P104     | B356 | 大阪府におけるイソヒヨドリとハッカチョウの分布の現状                        | 和田岳(大阪市立自然史博物館)                                                         |
| P105     | B356 | 西日本の島状生息地の劣化がコマドリにもたらす影響                          | 関伸一(森林総研・関西)                                                            |

| 発表<br>番号 | 会場   | タイトル                                                                | 発表者                                                                                                      |
|----------|------|---------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| P106     | B356 | 黒島及び小浜島におけるインドクジャクの防除                                               | ○峯光一・福原亮史((株)南西環境研究所)                                                                                    |
| P107     | B356 | ワカケホンセイインコ <i>Psittacula krameri</i><br><i>manilensis</i> のねぐら環境の報告 | ○松永聡美(公財日本鳥類保護連盟)・藤井幹(公財<br>日本鳥類保護連盟)                                                                    |
| P108     | B356 | ヒガシヒゲガビチョウ <i>Garrulax cinereiceps</i> の四国<br>への侵入と分布拡大             | 天野一葉(琵琶博)                                                                                                |
| P109     | B356 | ソウシチョウはホトギスの卵を拒絶しなかった                                               | ○東條一史(森林総研)・中村秀哉(常磐大学)                                                                                   |
| P110     | B356 | 近畿の鳥類標識調査地目録作成の試み                                                   | ○須川恒・中村進・古園由香・久下直哉・山根みどり・<br>狩野清貴(日本鳥類標識協会)                                                              |
| P111     | B356 | 探鳥会・自然観察会参加者の年齢、性別の特性<br>について                                       | 小泉伸夫(農研機構／日本野鳥の会東京)                                                                                      |
| P112     | B358 | 都市に生息する鳥類と、電柱・電線の関係                                                 | ○浅尾佳里・三上修(北海道教育大学 函館校)                                                                                   |
| P113     | B358 | 立ち枯れ木が増えて樹洞営巣者が増加した                                                 | 佐藤重穂(森林総研四国)                                                                                             |
| P114#    | B358 | 都市の歴史は鳥類の多様性にどのような影響を<br>及ぼすか？歴史都市・金沢での調査から                         | ○稲田亮介・上野裕介(石川県立大)                                                                                        |
| P115     | B358 | 福島県富岡町における鳥類の生息状況について<br>-2018 年経過報告-                               | ○板谷浩男(浜通り生物研究会 DREAM24)・木本祥<br>太(日本野鳥の会石川)・鬼久保正浩(浜通り生物研<br>究会 DREAM24)                                   |
| P116#    | B358 | 奥秩父山地における鳥類相と環境要因との関係<br>に対する季節の影響                                  | ○森塚晶人(千葉大院・園芸)・梅木清(千葉大院・<br>園芸)・平尾聡秀(東大・秩父演習林)                                                           |
| P117     | B358 | 人工林の林齢と混交率が越冬期の鳥類群集に及<br>ぼす影響—北海道全域での検証                             | ○河村和洋(北大・院・農)・山浦悠一(森林総研・植<br>生)・中村太士(北大・院・農)                                                             |
| P118#    | B358 | 鳥類のオープン・ハビタット利用と歩き方の関係性                                             | 山崎優佑(立正大)                                                                                                |
| P119     | B358 | 岐阜県長良川上流域の人工林における繁殖期の<br>鳥類相                                        | ○橋本啓史(名城大)・太田貴大(長崎大)                                                                                     |
| P120#    | B358 | 春日山原始林における被食散布型樹種と鳥類の<br>種子散布ネットワーク                                 | ○岡本真帆・大矢樹・田原大督・伊東明・名波哲(大<br>阪市立大学・院理)                                                                    |
| P121     | B358 | 種子を食べてから排出するまでの時間は、体サイ<br>ズによってどう変わるのか？：鳥と、獣と、恐竜と                   | ○吉川徹朗(国立環境研)・川上和人・正木隆(森林総<br>研)                                                                          |
| P122#    | B358 | 渡りは免疫機能をどのように抑制するのか                                                 | ○牛根奈々(日本獣医生命科学大学)・白石純一(日<br>本獣医生命科学大学)・佐藤達夫(NPO 法人 行徳野<br>鳥観察舎友の会)・加藤卓也(日本獣医生命科学大<br>学)・羽山伸一(日本獣医生命科学大学) |

## 《高校生(小・中学生)ポスター発表》

16 日(日) 13:00～15:00, 会場は B358

| 発表<br>番号 | タイトル                                                     | 発表者                                                                                  |
|----------|----------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------|
| Y01      | ハシボソガラス「ニートー家」の3年間                                       | 佐々木桃星・波多野蓮月・小松遥香・白岩さき・長内瑞穂・佐藤美穂(秋田和洋女子高等学校 自然科学部)                                    |
| Y02      | 鳥取県大山におけるジョウビタキの繁殖について II                                | 楠ゆずは(米子市立福米中学校)・楠なづな(米子市立福米西小学校)                                                     |
| Y03      | 利根川下流域のオオセッカについて                                         | 及川樹也(千葉県立佐原高等学校)                                                                     |
| Y04      | 巣箱掛けによるフクロウ保護活動の課題と対策                                    | 大西一生・村井駆・丹下浩(三重県立四日市西高等学校 自然研究会)                                                     |
| Y05      | 四日市西部丘陵で繁殖するフクロウの給餌食物                                    | 末永雄貴・大西一生・丹下浩(三重県立四日市西高等学校 自然研究会)                                                    |
| Y06      | 多摩川中流におけるカモ類の個体数推移と生息時期及び分布                              | 亀岡太郎(東京都立西高校)                                                                        |
| Y07      | 群馬県のスズメは減っているのか                                          | 深井こるり(群馬県立前橋女子高等学校)                                                                  |
| Y08      | 信濃川中流域におけるセキレイ類の分布調査結果                                   | 皆川茉夏・菊入夏海(新潟県立長岡高等学校 生物部)                                                            |
| Y09      | 尾瀬高校で行った野鳥観察や野鳥調査の全記録                                    | 新井梓・小林雪菜・松本龍・山田梨加・吉野りりか・秋山航(群馬県立尾瀬高等学校 理科部)                                          |
| Y10      | ラインセンサス法で明らかになった兵庫県南部の武庫川河川敷および市街地における鳥類相ー通学経路の鳥類観察との比較ー | 小寺美菜子・中西優希奈・大路紘裕・森美月・伊東涼風・江村郁琉・藤堂恭行・山木文汰・田中愛・長谷千波矢・荒木岳士・原田侑季(兵庫県立尼崎小田高等学校 科学研究部 生物班) |
| Y11      | カワウ・ユリカモメなどの羽毛サンプルの遺伝子解析                                 | 中西優希奈・小寺美菜子・大路紘裕・森美月・伊東涼風・江村郁琉・藤堂恭行・山木文汰・田中愛・長谷千波矢・荒木岳士・原田侑季(兵庫県立尼崎小田高等学校 科学研究部 生物班) |
| Y12      | メジロの亜種や性別は声で識別できる？ 4                                     | 知覧稜馬・東実文(大阪府立岸和田高校 生物部)                                                              |

## 《自由集会》

9月14日(金)15:30～17:30

| 発表<br>番号 | 会場   | タイトル                                            | 主催者                       |
|----------|------|-------------------------------------------------|---------------------------|
| W01      | B251 | 絶滅危惧種シマフクロウの観光利用に必要なもの－失われた保全との「持ちつ持たれつ」関係－     | 早矢仕有子(北海学園大・工)・高橋満彦(富山大)  |
| W02      | B253 | 「猛禽類アセスメント」の実態！                                 | 阿部學(ラプタージャパン)             |
| W03      | B255 | シマアオジの調査と保全：ロシア・モンゴル・日本の野外調査と、2018年度国際鳥類学会からの報告 | シンバ・チャン(バードライフ・インターナショナル) |

9月14日(金)18:00～20:00

| 発表<br>番号 | 会場   | タイトル                       | 主催者                                    |
|----------|------|----------------------------|----------------------------------------|
| W04      | B251 | 島の鳥類学－南西諸島の鳥をめぐる自然史        | 水田拓(環境省奄美野生生物保護センター)・高木昌興(北大院理学研究院)    |
| W05      | B253 | イソヒヨドリ繁殖地拡大を考える            | 川内博・柴田佳秀(都市鳥研究会)                       |
| W06      | B255 | 海鳥に対する洋上風力発電の影響評価：課題と展望    | 関島恒夫(新潟大)・河口洋一(徳島大)・風間健太郎・綿貫豊(北大水産科学院) |
| W07      | B351 | 鳥学会若手の集い「研究対象としての“鳥類”を考える」 | 佐藤望(バードリサーチ)・飯島大智(東邦大院理)               |
| W08      | B353 | 鳥好きのための実用英語(第二弾)：英文要旨の基礎   | 黒沢令子・三上かつら(バードリサーチ)                    |

・9月15日(土)17:00～19:00

| 発表<br>番号 | 会場   | タイトル                                                                                         | 主催者                                                                               |
|----------|------|----------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------|
| W09      | B251 | 系統種間比較のいろは                                                                                   | 長谷川克(総研大先端研)                                                                      |
| W10      | B253 | 野外鳥類学のモデルシステムーたとえば、モズ類の勤めー                                                                   | 高木昌興(北大院理学研究院)                                                                    |
| W11      | B255 | 減るカモメと増えるワシ:近年のカモメ類の急減要因を考える                                                                 | 風間健太郎(北大水産科学院)・白木彩子<br>(東京農大生物産業学部)                                               |
| W12      | B351 | 東アジア・オーストラリア地域渡り性水鳥重要生息地ネットワーク(ガンカモ類)支援・鳥類学研究者グループ:<br>JOGA 第22回集会「ガンカモ類調査研究の国際協力と日本の研究者の貢献」 | 澤祐介(バードライフ・インターナショナル)・嶋田哲郎(伊豆沼・内沼環境保全財<br>団)・牛山克己(宮島沼水鳥・湿地センタ<br>ー)・神山和夫(バードリサーチ) |
| W13      | B353 | 標本を作って残すってどういうこと?ー実物証拠としての標<br>本                                                             | 加藤ゆき(神奈川県博)                                                                       |
| W14      | B355 | 続・標識事業の現状とこれからについて                                                                           | 出口智広・森本元・千田万里子(山階鳥<br>研)                                                          |
| W15      | F271 | ベイズ派?アンチ?あなたはどっち?弁証法的ベイズ論(初<br>級編)                                                           | 田中啓太(野生動物保護管理事務所)・北<br>村亘(東京都市大環境)・加藤貴大(バード<br>リサーチ/総研大)                          |
| W16      | F275 | カワウを通じて野生生物と人との共存を考える(その21)ーカ<br>ワウ被害防除の新技術ー                                                 | 熊田那央・加藤ななえ(バードリサーチ)                                                               |

## 《展示販売》

- ・14日(金)～16(日)は、総合教育研究棟B棟3階のB350,B352教室に展示販売ブースを設けます。
- ・17日(月祝)は、朱鷺メッセ4階の国際会議室(マリンホール)入口付近をブースとします。

| 出 展 者                    | 展示・販売内容          | 14～16 日 | 17 日 |
|--------------------------|------------------|---------|------|
| Lotek Wireless Telemetry | ロガー, 発信機         | ○       | —    |
| 栃木屋工房                    | 野鳥グッズ            | ○       | —    |
| 公益財団法人 日本野鳥の会            | 書籍, グッズ          | ○       | ○    |
| (有)フィールドアート(谷口高司鳥絵工房)    | 野鳥図鑑画家が描くオリジナル商品 | ○       | ○    |
| 株式会社 キュービックアイ            | アルゴス             | ○       | —    |
| 株式会社 海游舎                 | 書籍               | ○       | —    |
| KoEco Inc.               | 発信機              | ○       | —    |
| 野鳥生活                     | 野鳥ステッカー          | ○       | ○    |
| 包み屋                      | 野鳥柄のアクセサリー, グッズ  | ○       | ○    |
| Biologging Solutions     | データロガー           | ○       | —    |
| 株式会社 数理設計研究所             | 発信機, 調査機器        | ○       | —    |
| 昆虫文献 六本脚                 | 書籍               | ○       | —    |
| 利尻島ウミネココロニーについて考える会      | うみねこんぶ           | ○       | ○    |
| 東海大学出版部                  | 書籍               | ○       | —    |